

## 平成30年度 第3回白井市市民活動推進委員会会議録（概要）

1. 開催日時 平成30年6月5日（火）午後1時～午後1時40分
2. 開催場所 白井市役所 東庁舎1階  
しろい市民まちづくりサポートセンター会議室
3. 出席者 関口宏聡委員長、清水洋行副委員長、黒添 誠委員、石川史郎委員、  
福留千亜紀委員、秋本紀子委員、大田茂子委員、迫田妙子委員、  
吉井信行委員、五十君みつる委員、浅海仁美委員（名簿順）
4. 欠席者 0名
5. 事務局 岡田課長、松岡主査、長谷川主事
6. 傍聴者 0名
7. 議 事
  - （1）平成29年度白井市市民団体活動支援補助金公開成果報告会について〔公開〕  
（資料1、2、3 非公開）
  - （2）平成30年度白井市市民団体活動支援補助金の審査結果について〔公開〕  
（資料4 非公開）
  - （3）今後の委員会予定について〔公開〕

### 8. 会議概要

[委員長]皆さん、こんにちは。今回は平成30年度の第3回委員会にいつもお忙しいところご参加ありがとうございます。本日は2部構成になっており、最初1時間こちらの部屋で委員会をやった後、隣に移り報告会という長丁場にはなりますけれども、どうぞよろしくお願ひします。早速ですが、事務局からご連絡をよろしくお願ひします。

《事務局より委員の紹介、会議資料と議題を確認》

[委員長]ありがとうございました。資料や流れについてご質問ありますか。よろしいですか。

- （1）平成29年度白井市市民団体活動支援補助金公開成果報告会について〔公開〕  
（資料1、2、3 非公開）

[委員長]1番目ということで、平成29年度白井市市民団体活動支援補助金公開成果報告会について事務局から説明をお願いします。

《事務局より、資料1、2、3に基づき説明》

[委員長]1つ目の議題として、この後やる公開成果報告会についてご説明ありましたが、皆さんからご質問、確認したいこと等はありませんか。初めてということなので、やってみないとわからないところもあると思いますけれども、タイムキーパーは事務局でやっていただくということでもいいですか。

[事務局]はい。発表時間の途中でベルを鳴らし、最終的に10分を超える場合には、また鳴らすような感じでタイム管理をしたいと思います。

[委員長]発表が早めに終わった場合は、質疑を長くするようにしますか。

[事務局]早めに終わった場合でも質疑は時間どおり5分で行います。

[委員長] これまで皆さんはコンパクトにご質問いただいているので、委員の方々は大丈夫だと思いますが、質疑が5分しかないので、団体さんから答えが長くてそれが続くと1往復で質問が終わってしまうかもしれません。そういう恐れがある場合は、私からもっとコンパクトにということで介入させていただきます。委員の方々もこれまでの経験や知識をお持ちなので、アドバイスや提案とか意見を出してもいいのですよね。

[事務局]はい。

[委員長]次やるとしたらこういうほうがいいのではないですかとか、例えばほかの地域ではこういうことをやっていますよとか、そういったアドバイスとか提案とかもいろいろオーケーですので、建設的なご議論をよろしくお願いします。

[事務局]本日は〇〇委員が委員でもあり、成果報告の報告者ということになりますので、その際には立場が変わりまして、前でお話しいただくということになります。

[委員長] ほかに何かありますか。よろしければ、議題1は終わりにして、議題2に行きたいと思います。

## (2) 平成30年度白井市市民団体活動支援補助金の審査結果について [公開] (資料4 非公開)

[委員長]議題2で平成30年度の補助金の審査結果について、事務局から説明をお願いします。

### 《事務局より、資料4に基づき説明》

[委員長]ありがとうございました。審査担当の方々はお疲れさまでした。特に審査担当じゃない委員の方から質問があれば、あるいは審査担当された委員の方々から何か感想とか補足があれば、お受けしたいと思いますが、いかがですか。

[委員]4ページの白井助け合いネットの一番下に、社会福祉施設の社会貢献活動とありまして、NPO法人は社会福祉法人とちょっと違うのではないかなという気がするのですが。

[事務局]ここの表記は、助け合いネットさんがサロンを展開する上で、社会福祉施設や介護施設などでサロンを展開されていまして、サロンを展開する場所の確保に

苦勞されているという実情がございました。そこで、社会福祉法人のような施設をサロンに使っている場合には、その法人側のほうに、私たちの活動が社会貢献活動であるというようなことを十分に施設側のほうにも働きかけていくことによって、施設提供の協力が得られるのではないのでしょうかという、そんなようなご指摘だったと思います。

[委員]今の話ですとここに書いてある説明にはなっていないと思うので、社会福祉法人の文言をとってしまえばわかりやすいのではないですか。

[委員長]補足するところでは、NPO法人助け合いネットさんの社会貢献活動というわけではなくて、助け合いネットが社会福祉法人でサロンをやるということになると、相手先の社会福祉法人は社会福祉法の改正で、地域貢献活動が義務化されているので、サロンをやるということが社会貢献の一環だよということを手助け合いネットさんから社会福祉法人にPRしていけば、もうちょっと施設開拓もしやすいのではないかと書いています。

[委員]今回の補助金の応募が3件だけでしたが、その前年度は7件ありました。今回3件しかなく応募者が少なかったということを事務局としてどのように捉えていますか。

[事務局]理由は事務局側のPRが、いろいろな団体の皆様のところまで十分行き渡らなかったということです。これは補助金の募集を開始する時期が大きく変更となり、PRを開始する時期が遅れてしまったため、至らない結果になったと考えています。PRの時期として、去年は12月中旬から1月末までという応募だったのですが、今回は2月中旬から3月中旬までとなったということがあり、なおかつ、その2月中旬から応募を受け付けますよという事前のPRもできなかったということで、結果的に7団体から3団体に減ってしまったのではないかと分析をしています。

こうした結果を踏まえ、これからは通年を通じて、これから補助金申請についての情報発信をしていくということはたらきかけを行っていきたいと思います。

[委員長]確かに全体の申請数は7から3に減っているのですが、活動発展型に限定して言えば、2から3に増えているということですね。

昨年度に活動促進型としてもらっている5団体はもう申請できず、活動発展型へ移行してもらおうというのが一つ流れとしてあると思うので、その流れにそっていたのが、今回の3団体になりますので、ある意味制度的にはうまく流れているのですけれども、残念ながら活動促進型の発掘が今年度はいま一歩だったということですね。

[委員]今回補助金を申請しなかった団体は、これから補助金なしでやっていける感じで波に乗れているのか、どうなのでしょう。それとも申請に間に合わなかったというだけなのか、どうして申請しなかったか、その辺を知りたいと思います。

[委員長]ユーカーさんは、何かご事情あったのですか。

[委員]期間中に担当の方から来年度も続いてどうですかという声かけはいただき

ましたが、正直なところ事務処理が大変でしたので今回は申請をしませんでした。  
[委員長]事務処理の負担は毎度ながらこの助成金でもそうですね。あとはどうでしょうか。

[委員]申請が3団体しかなかったですが、審査会するとき団体さんはもっともっとアピールしたかっただろうなと思います。もっと話を聞けば、いろいろ深い質問ができたと思いました。申請数が多ければ、逆にもっと時間がとれないのでしょうか、できればじっくり聞いて審査できると、団体さんも一生懸命書類をつくって出してくださるのではと思いました。

[委員]書面だけより直接話し合えたほうが、団体の熱意もわかるし、より深く知れるので、書類審査だけじゃないのがよかったと思います。

[委員]書類だけだとよくわからなかったのですけれども、お話伺って即わかったので、よかったなというふうに感じます。

[委員長]私も書類だとわからなかったことが、聞いてみてようやくわかるということが多かったので、それは公開プレゼンをやる意味なのですが、まちづくりサポートセンターさんで、団体の思いとか実績をなるべくペーパーにしっかり表現することもサポートとしてやっていただくと、書面審査もより効率的にわかりやすくなってくると思うので、そこはぜひ、まちサポさんで頑張っていただければなと思いました。

[委員]ステップさんの平成29年度の収支決算報告書の支出の勘定科目と平成29年度の申請時の最初の収支予算書の勘定科目が全く違うのですね。最初は報奨金とか交通費とか消耗品というのがあったのですけれども、収支決算では使用料、教科書料、資料代、事務用品費とかになっているので、それでいいのかなと思います。

それから最後のときめきマルシェで収支報告の一番後ろに自主財源というのがあり、出店料が2回分で28万8,000円とありますが、申請のときに繰越金も3万ぐらいあったのですがそれがありません。それから出店料でかなり稼いだので、繰越金が20万超えていて、補助金以上に繰越金があるというのは、補助制度としていいのかなということで、白井市の補助金に関する条例を見たのですけれども、はっきりとはわかりませんでした。

予算書と決算書とを合わせてくらべ、補助金よりも余計に3割ぐらいは繰り越してもいいというのがあったような気もしたのですが、市の条例では特に何にも書いてなかったように思いますが、どうなのですか。

[委員長]ご説明をお願いします。

[事務局]それでは説明をさせていただきます。白井市では、白井市補助金のあり方の基本方針を昨年の8月につくっています。方針の中には、先ほどおっしゃっていたような繰越金の規定があります。多額の繰越金が発生している団体の取扱いとしては、補助金の額を上回る繰越金が発生している団体など、経常的に繰越金が発生している団体は、自立性が高いと考えられることから、補助額を削減するなどの見直しを

行いますというような、そんなような考え方に整理されています。

ですので、今回は、ときめきマルシェさんはこの事業をやったことによって、大分繰越金が自主財源としてふえたということですので、次年度以降の補助金に関しては、この繰越金を使って自主財源で運営をしてもらいたいというようなことから、翌年の補助金の支出ということは、ここでできなくなってくるような、そんな考え方になります。

昨年度分については、その当時の状況で自主財源だけだと厳しいというようなことでの申請だったもので、それに基づいて支出をしていますので、特に返金をしてもらおうとか、そういうような扱いということでは考えておりません。

[委員長]ありがとうございました。どうでしょうか。

[委員]考え方としてよくわかりました。それはいつからやるのですか。

[事務局]ここでこれだけの繰越が出ているのであれば、もう今年度から自主財源でやってもらうという考え方で行くということです。

[委員長]私は資料3の収支決算書の表記を申請時と勘定科目を合わせるとか、わかりやすくしていただきたいかと思う。あと、繰越金は基本的に費用科目ではなく、これを記載すると誤解を招くので、もうちょっとこの様式のあり方については工夫しないといけないと思います。特に任意団体の場合は事業助成であるので、この補助金の収支計算書が団体の収支報告になることが多いので、そこら辺の認識が本当にこれでいいのかなということをもう1回確認してみしてほしいなと思いました。そこら辺も、まちサポさんにしっかりサポートをしていただければと思います。ほかにいかがでしょう。

[委員]同じく資料の3で、5ページのまんぷく食堂さんのところの採否のときの得点率が56.6%となっており、今年度は6割ということだったのですけれども、前は得点率の基準が違ったということなのですか。

[事務局]足り点のラインが活動発展型は60%、活動促進型は50%と異なっているためです。

[委員]わかりました。

### (3) 今後の委員会予定について [公開]

[委員長]そうしましたら、時間も近づいてきましたので、次の予定についてご説明をお願いします。

[事務局]次回の委員会なのですが、1回目の委員会で、29年度と30年度のスケジュールの見通しということでお示しをしています。予定で行きますと、7月下旬から8月上旬にかけて全体会議の予定になっていますので、当初予定どおり皆様にまた改めて、複数の日程候補をお示しし、その中から多くの方が出席できる日に決定させていただきたいと思います。それから、次回は小学校区単位のまちづくりなどのテーマを前提に、事務局で準備を進めていきたいと思っています。なるべく1週間前ぐらいま

では資料をお送りするように努めますので、資料お目通しの上、委員会に出席いただけたらと思います。

[委員長]会議日程はこの後、7月下旬から8月上旬をめどに調整で、2点目はテーマについては、次回はフリーディスカッションなので、事務局案としては、小学校区単位の活動の活性化みたいなことを考えているということですが、何か委員の方々からこういうのを議論したいとかというご提案あればいかがでしょうか。

[委員]夏休みなので、早めにいただけると予定が立てやすいです。

[事務局]はい、わかりました。

[委員長]日程も含めて何かご要望あれば。よろしいですか。そうしたら、小学校区を中心としたまちづくりのものと、あとはまちサポさんのこととかは、いかがでしょうか。

[事務局]今年度末の最終会議で、まちづくりサポートセンターの事業の取り組んだ事項等を報告させていただいて、皆さんからその実績に基づいた意見をいただきたいと予定をしています。

[委員長]それは最後会議ということで、次回は小学校区単位のまちづくりということで開催します。ここで一旦委員会は終了し、引き続き成果報告会もよろしく願います。

資料1 タイムスケジュール

資料2 公開成果報告会の開催企画（概要）

資料3 平成29年度白井市市民団体活動支援補助金採択団体の実績報告[非公開]

資料4 平成30年度白井市市民団体活動支援補助金の審査結果について[非公開]